

避難経路確認訓練

○ 訓練の目的

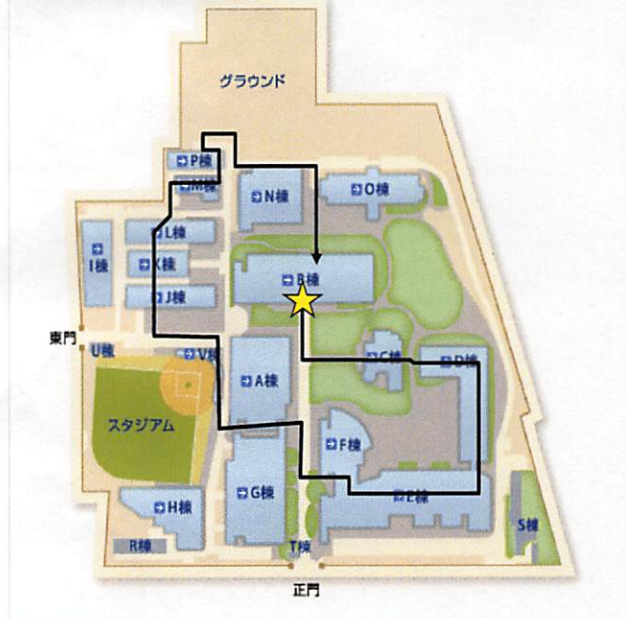
大規模災害などの非常事態が起きた場合に、基本的な対応（学生の誘導や救援要請）がとれるよう各建物の事務室、非常口、消火器、防火シャッター等の基本的な知識の習得をする。

○ 最初に…

- 消火器は歩行距離20m間隔で設置されているので、位置を確認しておきましょう。
- スローダン・屋内消火栓は3階以上に設置されている箇所があります。
- エスカレータ、エレベータ、階段、吹き抜け付近は防火戸または防火シャッターがあり、災害時に作動しますので日頃からそれらの付近に物を置かないよう心掛けてください。また、作動した際はくくり戸があり、手で押して開けられるようになっているので、覚えておいてください。
- 非常口は各階2箇所以上あるので、よく見ておきましょう。
- 屋外消火栓・災害避難場所を覚えておきましょう。

○ 経路

【避難経路確認訓練経路図】



C棟（ウェスレー・チャペル） 正面→礼拝堂→D棟

- 礼拝だけではなく、授業、チャットルーム、学生の課外活動、演奏会などで使用しています。礼拝堂内の消化器は木枠の中にあります。D棟、スクエア側への出入り口があります。

D棟 C棟側→ラウンジ→E棟側

- 消火器、非常口、火災報知機、ラウンジ内ストレッチャー・毛布、防火シャッター、トイレ警報機（女子トイレ・身障者用トイレにはあるが、男子トイレにはない）

E棟 D棟側→アーチ下を→F棟へ

- 屋外消火栓、消火器、非常口

F棟

- ストレッチャー、消火器、防火戸

G棟 A棟・G棟の間→G棟裏→スタジアム前→J棟へ

- 消火器、屋内消火栓、非常階段（部室階から外へ避難できるようになっており、内側からサムターンで鍵を開錠できるようになっている）、スタジアム（災害時第二避難場所）

J棟・K棟・L棟 J棟駐車場側→J棟→L棟→M棟へ

- ライフマスク、非常口、非常用シャワー、消火器、消火栓、消防隊進入口、スローダン、消防車用活動空地、非常警報ランプ、少量危険物取扱所表示

M棟・P棟 M棟概観→P棟概観→N棟へ

- 非常階段、非常口、M棟防災倉庫・備蓄庫（ジャッキ、シャベル、食糧など保管）、P棟防災倉庫・備蓄庫（担架、リアカー、ロープなど保管）

N棟

- グラウンド（災害時第一避難場所）、中央管理室（1階奥）

【相模原キャンパス避難場所】



エレベーターチェア

2015 年 3 月より設置

1. 普段は椅子として
2. 非常時にはトイレとして
3. 収納

(A & A.T ホームページより)



避難経路確認訓練について

2008 年度防災プロジェクトの活動の一環として行った「避難経路確認訓練」についてご紹介いたします。2008 年度に相模原キャンパスへ就任・異動された方を中心に行いました。キャンパスのすべてを確認することは出来ませんでしたが、とても有意義な訓練が実施できました。

今回は、実際の訓練に基づいて、画像を載せながら紹介させていただきたいと思います。訓練に参加されていない方も、少しでも雰囲気を知っていただければと思います。

B 棟アトリウム

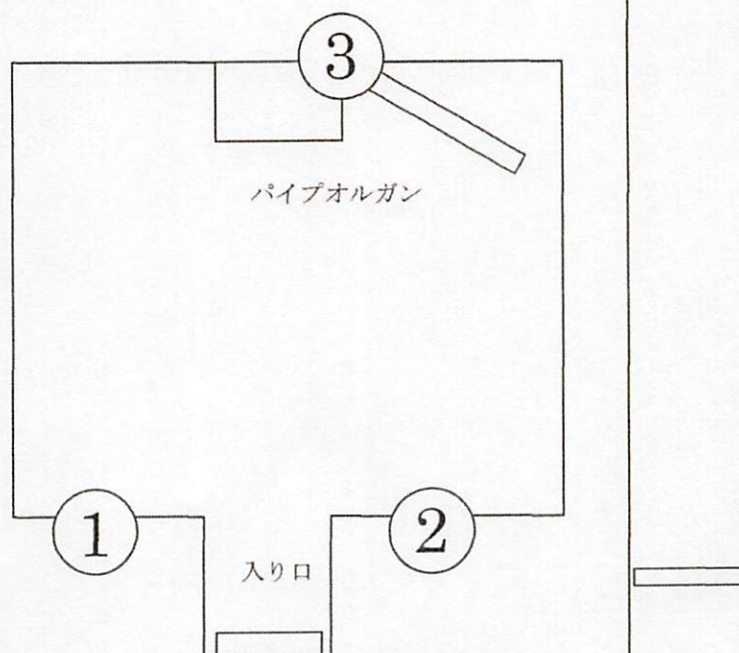


B 棟 1 階アトリウムに集合（いわゆるロビーです）
避難経路確認訓練スタート！
B 棟を出発し、まずは C 棟チャペルへ移動します。
訓練は、受験生たちに行っているキャンパスツアーに似ています。

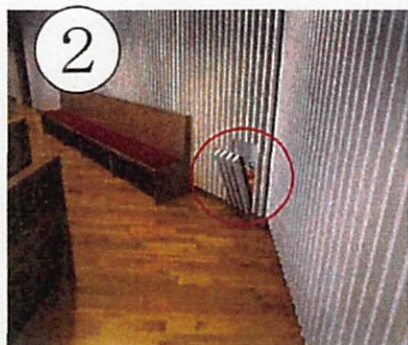
C 棟チャペル 礼拝堂



C 棟礼拝堂内。
とても発見しづらいですが、ここに消火器が入っています。木枠を手前に引くと開きます。
礼拝堂内にはこのように 3 箇所消火器が設置されています。



C 棟チャペル 礼拝堂



入り口に入って右手側にも消火器
があります。



分かりづらいですが、パイプオル
ガンの左奥に消火器があります。

D 棟



D 棟 1F

廊下には 20m ごとに消火器が置かれています。ちなみ
に、屋内消火栓は 3F 以上にしか設置されていません。



D 棟 1F ラウンジ

左図のように、ラウンジのテーブルには、ストレッチャ
ーが内蔵されているものがあります。D 棟 4F にも同様
のテーブルが設置されています。ちなみに、エスカレー
ターは 3F までで、4F にはエレベーターか階段で行か
なければなりません。

D 棟



D 棟 3F

身障者・女性トイレには、左図のように防犯ブザーが設置されています。ブザーが押された時には中に声をかけましょう。



D 棟 3F

見えづらいですが、左図のように D 棟外には消防活動用空地があります。(WORKING SPACE FOR FIRE ENGINE と書かれています) ここは火災時などに消防車が隣接するスペースなので、車両や物を置かないようにしましょう。注意して見ていると、キャンパス内の各所にあります。

E 棟 2F



E 棟 2F 大教室前に到着。
教室の前に消火器が設置されています。



E 棟 2F ラウンジ。
ここにも D 棟同様にストレッチャー内蔵テーブルがあります。



2F の外階段を降りて F 棟へ向かいます。ちなみにこの木は新日鉄時代からここに 있습니다。

F 棟 1F

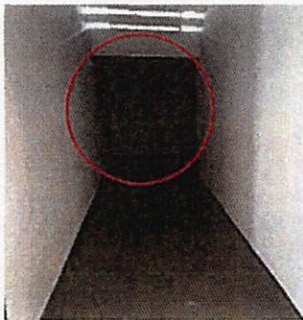


F 棟 1F 学生ラウンジ

このエレベーターは 2F までしか行きません。
相模原キャンパスの青山スタンダード機構室があります。

F 棟 1F 階段下

とても暗く、ちょっと怖い場所ですが、ここには担架が置いてあります。
ロッカー前にあるマンホールの蓋には「湧水」と印字されていますが、
これは、各棟（建物）の 1 階床下（地下がある建物は地下床した）が
地下浸透水を溜めるための槽になっており（一般に「湧水槽」と呼ぶ）、
その槽のメンテナンス用のマンホールです。



また、「3 箇所の湧き水」とは「キャンパス内にある 3 箇所の井戸」の
ことであり、キャンパス内に「湧き水」は存在しません。

F 棟の地下に井戸はなく、キャンパス内の 3 箇所の井戸はすべて屋外に
設置されています。



参考に、No.1 井戸 B 棟屋外南側

No.2 井戸 野球場東側駐車場

No.3 井戸 D 棟屋外南側

にあります。

（井戸深さ約 100m 井戸ポンプ深さ約 60m）



F 棟から出て、G 棟を大きく周
ります。ここにも消防活動用空
地があります。



A 棟・G 棟の間を抜けます。
冬の時期はここで食事をする
学生も少ないようです。
ちなみに、スタジアムは災害時の
第二避難場所に指定されています。

G 棟 食堂



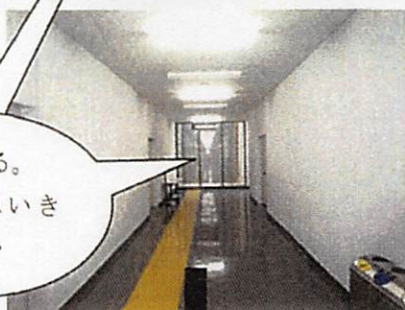
G 棟食堂を外から見ています。
ここからも消火器が見えます。



A 棟 アリーナ地下



扉が見える。
屋外と思いき
や……



A 棟アリーナの地下にやってきました。

ここは、一見外に出られそうな扉がありますが、ここからは地上に避難することが出来ず、行き止まりとなっています。

非常事態に逃げた先が行き止まりになっていた、ということが起こりかねません。

避難経路には必ず「→」マークがあります。これを頼りに避難することを心がけてください。



行き止まり・・・



再び外に出て J・K・L 棟を目指します。ここは B 棟の地下搬入口です。B 棟の地下へつながっています。



K 棟入り口にやってきました。
向かって左手には、あの有名な
ニュートンの木が植えられてい
ます。



J 棟 6F まで上がってきました。

J 棟 6F



J 棟 6F 向かって右手側には避難器具「スローダン」が
設置されています（屋外）。この器具は体をロープで固
定し、安全に地面へ降りるための器具です。緊急時に使
用してください。

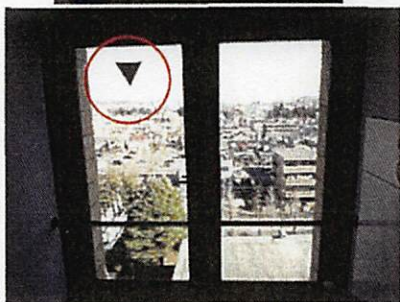


ここは J 棟 6F の研究室エリアです。
事故発生時にはこのランプが点灯します。

J 棟 6F

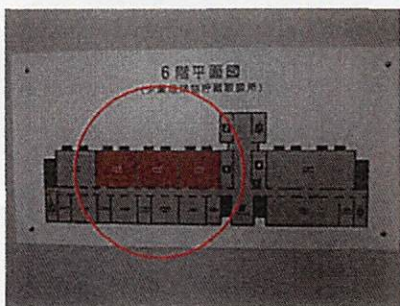


J 棟 6F の薬品洗浄用のシャワーです。男性・女性トイレに設置されています。薬品をかぶってしまった時などはここで洗浄します。



緊急時の消防隊の入り口です。

この前には荷物などを置かないようにしましょう。



J 棟階段に設置されている建物平面図です。

少量危険物が設置されている部屋は赤く示されています。



そのまま階段を降ります。

左手にはアイソトープ室と
工作室のある I 棟が見えます。

M棟



M棟側面にある防災備蓄倉庫です。
ここを開けるには鍵が必要です（施設G保管）。



グラウンドに出てもう一つの備
蓄倉庫を確認したいと思います。
グラウンドは災害時の第一避難
場所です。

グラウンド脇 防災備蓄倉庫



もう一つの防災備蓄倉庫がここに 있습니다。
体育倉庫もここに 있습니다。

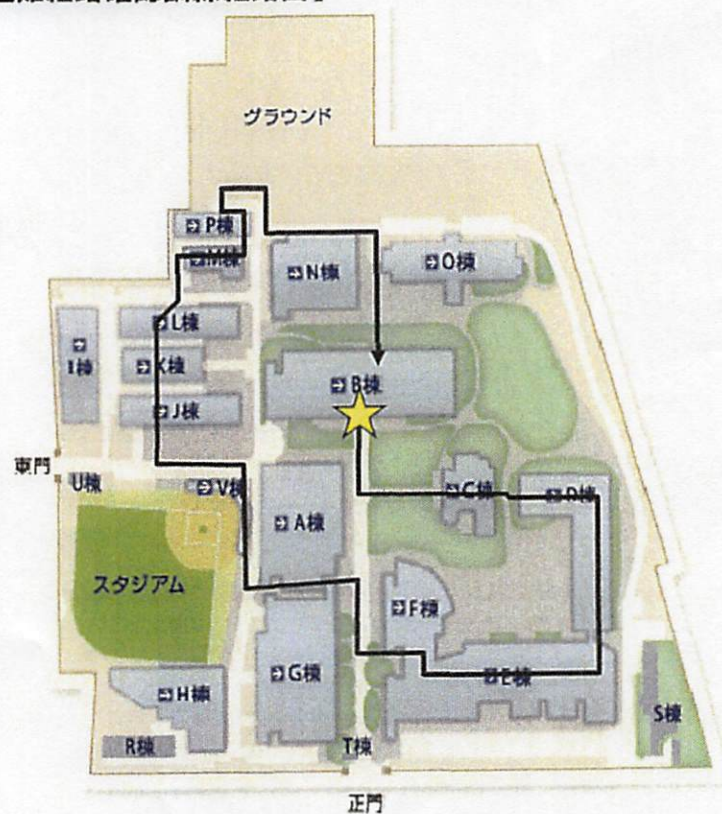


グラウンドを左手に見ながらN
棟へ向かいます。



終了

【避難経路確認訓練経路図】



以上で訓練は終了となります。
今後も防災プロジェクトの活動にご協力お願いいたします。